

〔 研究所だより 〕

1968年5月10日

産業貿易研究所研究会

「資本集中と産業再編成」について、本学の岡崎守男氏の報告をうける

5月10日 産業貿易研究所 総会

42年度経過報告のあと 43年度事業計画が討議された。そして調査研究業務については

- (1) 経済動向に関する研究
- (2) 産業構造の研究
- (3) 地域社会 地域経済の研究
- (4) 定例研究会

教員、学生、課外活動へのサービスとしては

- (1) 工場見学等の実施
- (2) 科学技術に関するフィルム・サービスなどが確認された。

そして具体的共同研究計画予定として

- 1 21世紀未来像（地域担当）
- 2 都市性工業の検出 大阪市総合計画局
- 3 福井県機械工業振興計画 福井県

を実行することになった。

その後、役員選挙にうつり、所長に竹内正己氏を再選、運営委員に庄谷、柳田、岡崎（経）
二宮、飯塚（社）を選出。

5月15日

産業貿易研究所研究会

通産省万博準備室の池口小太郎氏を講師として招き、「日本の地域構造」「万国博について」の報告をうけ質疑応答。

6月5日

運営委員会

10周年記念事業の一つである講演会について講師の決定

産貿研究所シリーズ「所報」の発行について討論

学生に対するサービス活動の計画

9月7日

地方調査機関全国協議会シンポジウムについて打ち合わせ

9月24-25日

地方調査機関全国協議会シンポジウム 「国際化に企業は如何に対処すべきか」 を
地方調査機関全国協議会・大阪府立商工経済研究所・大阪経済調査会と共催で新装な
った大阪商工会議所で開催。

とくに25日午前中は、桃山学院大学創立十周年記念講演会を行なった。講師は朝日新聞
社論説顧問、森恭三氏で「激動する国際情勢」について講演。

10月3日

産業貿易研究所臨時総会

十周年記念刊行物についての内容の検討を行ない、中小企業関係、地域社会関係、そして
外国文献の翻訳について討議。

その他、研究所事業の一つとして 「市民講座」「白書講座」について今後考えていくこ
とに決定。

10月29日

産業貿易研究所総会

研究所サービス活動についての検討と十周年記念刊行物の内容について討論し、実証的な
もので、資料や新刊紹介なども含めたものにしていくことに決定。

11月7日

第1回「現代日本の工業」を見る会を実施、「西陣織」の総合近代工場である川島織物を
見学する。

11月29日

日本生命本社コンピューターを見学

12月13日

研究所の活動について全教員に対しアンケートをつくる。